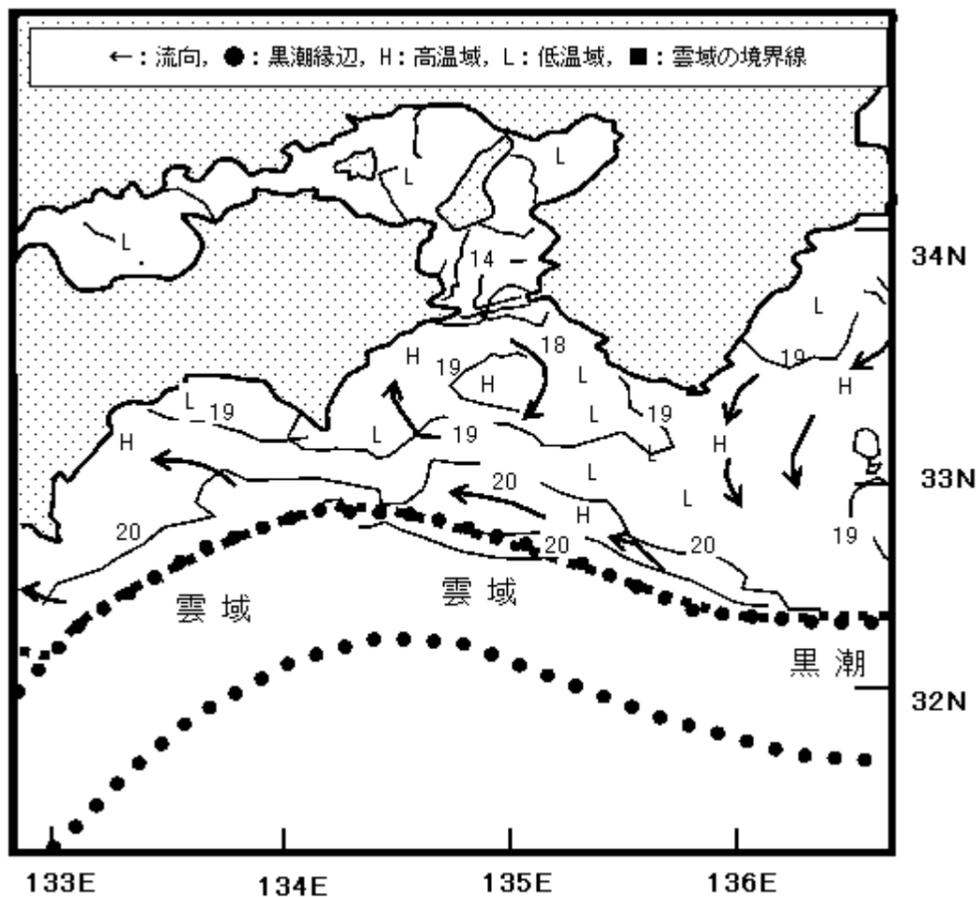


## 1. 海況の経過

### 1) 黒潮

九州東岸～足摺岬沖で離岸、室戸岬で接岸、紀伊水道沖～潮岬で離岸して流れている。表面水温は21℃前後。現在、黒潮の蛇行部分が潮岬を通過中であるため、潮岬沖の黒潮は離岸している。



### 2) 海況

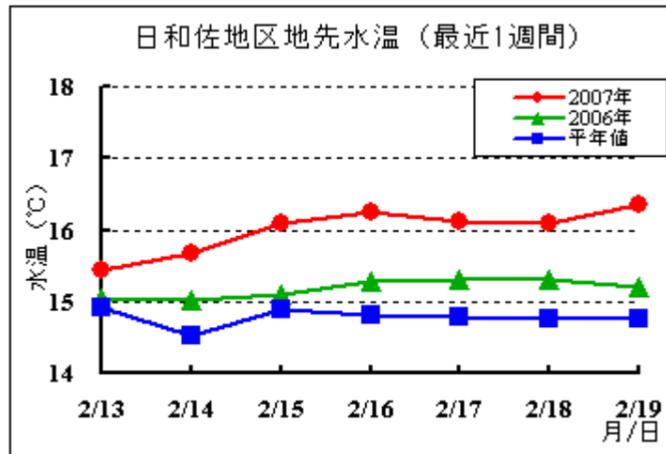
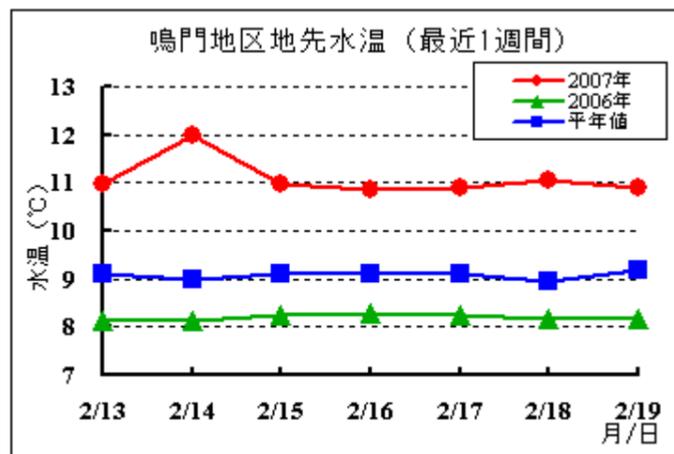
上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.2.18～19)を示した。

表面水温は播磨灘が11～12℃、紀伊水道内部が12～17℃、水道外部は17～19℃で覆われている。19℃の黒潮系暖水が潮岬沖から徳島県沿岸部に流入している。

### 3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「高め」～「かなり高め」の10.9～12.0℃で、日和佐地区が「やや高め」～「高め」の15.7～16.4℃で、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の16.4～18.0℃で推移した。

気温の上昇と先週から継続している黒潮系暖水の強い差し込みにより各地区ともに高め基調で推移していると考えられる。



## 2. 漁況の経過

**延縄:**海部沿岸で、サバフグが0.5トン(1日1隻あたり14kg)、大、中主体にアマダイが0.4トン(同15kg)水揚げされた。

**すくい網:**海部沿岸で、カワハギが0.4トン(同34kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、キビナゴが2.1トン(同90kg)、アオリイカが0.5トン(同10kg)水揚げされた。

**建網:**海部沿岸で、中主体にヒラメが0.3トン(同5kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、タチウオが1.2トン(同56kg)、小主体にゴマサバが1.1トン(同139kg)、大、中主体にマサバが0.6トン(同72kg)、大主体にアオリイカが0.3トン(同5kg)、紀伊水道でも、タチウオが0.4トン(同77kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)2月8日～2月14日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	32	453	14	
		アマダイ	25	363	15	大、中主体
すくい網		カワハギ	11	369	34	
小型定置網		キビナゴ	23	2,076	90	
		アオリイカ	49	485	10	
建網		ヒラメ	54	288	5	中主体
釣り		タチウオ	22	1,223	56	
		ゴマサバ	8	1,112	139	小主体
		マサバ	9	645	72	大、中主体
		アオリイカ	59	303	5	大主体
	紀伊水道	タチウオ	5	385	77	

週間予報:

黒潮は、室戸岬が「やや離岸」、潮岬沖が「かなり離岸」で推移する見込み。  
地先水温は、鳴門地先で「高め」の9～10℃、日和佐地先で「高め」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが4.1トン(1日1隻あたり112kg)水揚げされた。  
高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが13.7トン、スルメイカが9.7トン水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上